

市バス統合を提言！



市では、高齢者などの移動手段の確保と中心市街地の活性化を図るため、平成19年6月（予定）から、「市営バス」、「コミュニティバス」、「福祉バス」を一元化し、新たなコミュニティバスの運行を計画しています。

市民が利用しやすいバス路線の調査・計画を策定するため、市公共交通計画策定委員会を設置し、同計画策定に向けた提言を受けました。

市では、行政改革実施計画に基づき、「市営バス」、「コミュニティバス」、「福祉バス」の各々の目的によってそれぞれ異なった形態や料金で運行する3系統のバスを、総合的かつ効率的により一層市民が利用しやすいバス路線の調査・計画を策定するため、昨年5月に市公共交通計画策定委員会（会長・長尾治明 富山国際大学教授）を設置しました。

委員会においては、本市の公共交通、公共バスの現状と課題整理を行うとともに、市民アンケート調査を実施するなど幅広い観点から協議を重ね、同計画の策定に向けた提言をまとめていただきました。

市では、提言を踏まえて3月中旬に運行計画（ルート・停留所・運賃など）を策定し、道路運送法に基づき設置する地域公共交通会議の合意を得て、国への届出を経て、6月中旬に新バスの実証運行を開始する予定です。

▼問合せ先 生活環境課（内線323）

- ### 提言概要
- ① ルート設定について
 - 高齢者や車を自由に使えない市民の日常の交通機関として、医療・福祉施設、公共施設、ショッピングセンター、主要交通機関への経路を基本とする。
 - 通勤・通学者を支援する交通機関として、J R 滑川駅の起点を基本とする。
 - 市の地形的な特徴を考慮し、市街地などについては循環ルート、中山間地域へは往復ルートとし、双方を機能的に組み合わせ8ルートの設定を基本とする。
 - 現状の運行便数を維持する。
 - ② 停留所
 - 全ルートにおいて安全性が確保される個所については自由乗降を可能とする。
 - ③ 車両
 - 現市有バスを有効に活用した運行を基本とする。
 - ④ 運行時間設定について
 - 通勤・通学者に配慮した運行時間を設定する。
 - ⑤ 運行形態について
 - 当面実証運行とし、乗降状況に応じてルートの廃止・変更やダイヤ、運賃改正など適宜見直され、本格運行へ移行する。
 - ⑥ 運賃について
 - 現行のコミュニティバスの運賃体系に近いものとし、かつ全市的なバス運賃の公平さを確保するため、1乗車あたり均一運賃を基本とする。
 - ⑦ 運行主体について
 - 民間委託による運行を基本とする。
 - ⑧ その他
 - 利用者増加のためのPR手法やイベント開催など、ソフト面の施策を検討する。

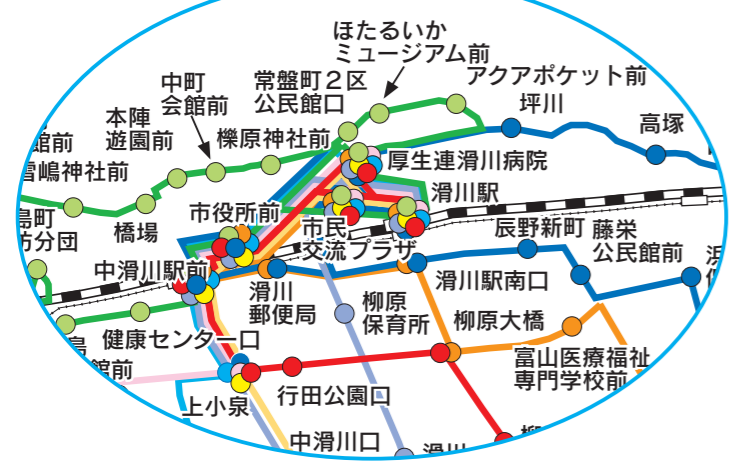
提言された8ルート

- 市街地などは循環を基本とする2ルート
- 中山間地域は往復を基本とする6ルート

★滑川駅・厚生連滑川病院・滑川市民交流プラザ・市役所前・中滑川駅前の5か所は、全8ルート通ります。



市街地拡大図



市営バス回数券廃止のお知らせ

現行の市営バス（中野線・小森線・みのわ線）でご利用いただいている回数券は、利用できなくなる予定です。今後の回数券につきまして、計画的にご利用いただきますようお願いします。